

本稿は 2017 年 5 月 15 日、AIG 米国本社が発表した英文プレスリリース(原文)の参考訳です。
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。
原文の発信日付で、AIG ジャパンのホームページに掲載しています。



AIG、ハミルトン・インシュアランス・グループ、ツー・シグマ・インシュアランス・クオンティファイドが提携拡大を発表

AIG は、ハミルトン・インシュアランス・グループの米国事業であるハミルトン USA を取得することで基本合意

AIG とツー・シグマ・インシュアランス・クオンティファイドは、世界に広がる AIG のコマーシャル・インシュアランスにおけるデータ・サイエンスおよびテクノロジーの活用加速に向けて提携

ハミルトン再保険と AIG は、再保険事業で戦略的提携へ

アチューンは、ターゲットとするマーケット・セグメントを年間収入保険料が 1,500 億ドルにのぼる中小企業セグメントへと拡大へ

ニューヨーク、バミューダ、2017 年 5 月 15 日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク(ニューヨーク証券取引所銘柄:AIG)、ハミルトン・インシュアランス・グループ・リミテッド(以下、「ハミルトン」)、ツー・シグマ・インベストメンツ・エルピー(以下、「ツー・シグマ」)の独立関連会社であるツー・シグマ・インシュアランス・クオンティファイド・エルピー(以下、「TSIQ」)は本日、データを活用した保険引受ビジネスの進化を主導することを目的に提携を拡大する基本合意書(「MOU」)を交わしたと発表しました。

基本合意書は、AIG、ハミルトン、TSIQ がデータ・サイエンスおよびテクノロジーを活用したコマーシャル・インシュアランスの変革を全力で推進することを示しています。これは、2016 年 9 月に米国で中小企業向け保険のサービスを提供するデータ対応テクノロジー事業のアチューンに 3 社で共同出資したことに続く取組みとなります。

基本合意書の内容は以下のとおりです。

アチューンがターゲットとするマーケットを最大で年間売上高 3,500 万ドルの企業に拡大します。これは年間収入保険料総額にして、最大 1,500 億ドルのマーケット・セグメントに相当します。ハミルトンは引き続きアチューンの 3 分の 1 を保有します。

AIG は、保険引受の変革に向けて、データ・サイエンスおよび分析技術の活用を加速し続けるため、ハミルトン・インシュアランス・グループの米国事業であるハミルトン USA を取得することで基本合意しました。

AIG と TSIQ は、TSIQ の保険に特化したデータ・サイエンスおよびテクノロジーのノウハウを AIG が世界で引き受けている幅広いコマーシャル・インシュアランスで活用するために提携を結びます。

ハミルトン再保険と AIG は再保険事業で戦略的提携を結びます。これにより、ハミルトン再保険は、マーケットにおける条件で、より多くの AIG の再保険を引き受けることが可能になります。提携は、ハミルトン再保険に保険料の大幅な増加、AIG には再保険資本の新たな源泉をもたらす可能性があります。

AIG のブライアン・デュパロウ社長兼 CEO は次のように述べました。「かねてよりデータ・サイエンスおよびテクノロジーを保険業界で活用することは私の課題でした。それがハミルトン・インシュアランス・グループ創設の発端であり、また、AIG の今後の重要課題の一つとなるでしょう。」

「私はアチューンを通して、異業種提携—今ではインシュアテックと呼ばれています—こそがそのための道であることを学びました。我々の業界を共に変革するパートナーとして、ハミルトンとツー・シグマほどふさわしい企業は他に思い浮かびません。」

ツー・シグマのデビッド・シーゲル共同創業者兼共同会長は次のように述べました。「保険は経済成長にとって本質的なものです。データ・サイエンスおよびテクノロジーはより実務的な保護機能やプロセスの進化から、リスクのより適切な理解まで、保険業界に無数の機会をもたらします。そして、同時にコスト低減や資源活用の有効化を図ることも可能です。こうしたメリットを更に引き出すために TSIQ が AIG、ハミルトン両社と協力することに非常に期待しています。」

ハミルトンのウィリアム・フレーダ会長は次のように述べました。「設立以来、ハミルトンと戦略的パートナーのツー・シグマは自動化システム、アルゴリズム、データ解析を活用したデータによる引受・リスク管理に力を入れてきました。この基本合意によって、アチューンがターゲットとするマーケットの拡大や AIG、ハミルトン再保険の双方に恩恵をもたらす新たな再保険事業の可能性を広げ、ハミルトンに変革をもたらすことに大いに期待しています。」

提案されている AIG、ハミルトン、TSIQ の取引は、最終契約に関する交渉と規制当局の承認を経て完了します。これらの取引の開始にあたり、サリバン・アンド・クロムウェルが AIG、カークランド・アンド・エリスがハミルトン、スキャデン・アープス・スレート・マー・アンド・フロムが TSIQ およびツー・シグマの法律顧問を務めました。

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、将来の事象に関する AIG の見解のみを表しており、その多くは性質上、本質的に不確実なものであり AIG に制御可能な範疇を超えています。本取引は中止もしくは本プレスリリースの記述と大きく異なる形式をとる可能性があります。また、本プレスリリースのそれぞれの当事者は、自身の発表の限度でのみ責任を負い、他の当事者の発表を支持もしくは認めるものではありません。

AIG について

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、80 以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。1919 年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIG グループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。AIG グループにおける主要事業は、コマーシャル・インシュアランスおよびコンシューマー・インシュアランス、ならびにその他の事業で構成されます。コマーシャル・インシュアランスは、企業賠償・経営保険、企業財物・スペシャリティ保険の 2 事業部門、コンシューマー・インシュアランスは、個人向け退職給付、団体向け退職給付、生命保険、個人向け損害保険の 4 事業部門により構成されています。持株会社 AIG, Inc. はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。

詳細は、ウェブサイト www.AIG.com をご覧ください。

ハミルトン・インシュアランス・グループについて

ハミルトン・インシュアランス・グループは、バミューダ、米国、ロイズ保険市場で展開する損害保険および再保険事業を傘下に持つバミューダを拠点とする持株会社です。分析と調査を駆使し、顧客と株主のために引受および投資価値の創出に取り組んでいます。詳細につきましては、www.hamiltongroup.com | Twitter: @HamiltonInsures | LinkedIn: <https://www.linkedin.com/company/hamilton-insurance-group> をご参照ください。

ツー・シグマ・インシュアランス・クオンティファイドについて

ツー・シグマ・インベストメンツ・エルピーの独立関連会社であるツー・シグマ・インシュアランス・クオンティファイドは、保険業界の中でも有数の歴史を持つ会社のパートナーを目指しています。ツー・シグマ・インシュアランス・クオンティファイドは世界のデータから価値を見出すツー・シグマの洞察力と連携し、テクノロジー、データ・サイエンス、インテリジェント・オートメーション、クラウド型計算機能を活用することで、保険業界におけるイノベーション促進、リスクの理解向上、ビジネス・商品の品揃えの拡充を支援します。詳細につきましては、www.twosigmaiq.com をご参照下さい。

アチューンについて

アチューンは最先端のテクノロジー対応型事業基盤を活用し、中小企業向け保険商品の開発と販売の合理化を図ります。詳細につきましては、hello@attuneinsurance.com までお問い合わせください。